

消火栓フレキシブル工法 施工要領書

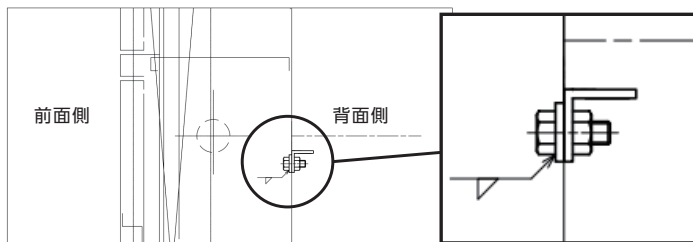
※不燃区画を貫通させないでください。

STEP 1

枝配管にSVJ2を接続し、とぐろ状に仮固定します。

- ・SVJ2両端のテーパネジには、シール剤の塗布かシールテープを巻いてください。
- ・取付時、ニッブル根本から一握り分(50mm程度)の間隔を取って、曲げることを推奨します。
- 最小曲げ半径65R以下で曲げない様に注意してください。

図1 L型アングル 取付イメージ図



STEP 2

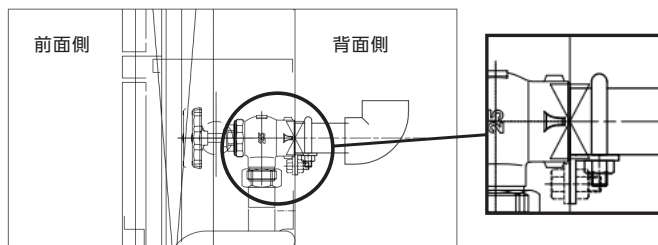
消火栓格納箱のバルブ口(下部)にL型アングル材を取り付めます。

※図1参照

消火栓弁に単管を接続し、L型アングル材にUボルトを取り付けて単管を固定します。※図2参照

単管にエルボを接続します。

図2 Uボルト 取付イメージ図



STEP 3

エルボにSVJ2を接続します。

- ・SVJ2のL寸法2mを超える場合は、中間支持を設けてください。中間支持方法については、図3を参照ください。
- ・所定の試験圧力による加圧試験を行ってください。※使用圧1.4MPa以下/耐圧試験1.75MPaもしくは、締め切り圧の1.5倍

図3 中間支持 取付イメージ図

